

第10回電子光技術シンポジウム 電子・光によるプロセッシングとインフォマティクス



2023年12月18日、秋葉原UDXカンファレンスにおいて、産業技術総合研究所（産総研）主催、当協会共催により、第10回電子光技術シンポジウム「電子・光によるプロセッシングとインフォマティクス」が開催された。当日は、産業界並びに関係研究機関等から127名の参加があり、会場がほぼ満席となるなど、この分野に対する関心の高さが感じられた。

午前は、インフォマティクスに関する講演として「プロセスインフォマティクスを用いた高品質SiC結晶成長技術の開発と展開」（名古屋大学 未来材料・システム研究所 未来エレクトロニクス集積研究センター 教授 宇治原徹氏）、「超伝導関連材料探索におけるインフォマティクスの活用」（産総研 電子光基礎技術研究部門 荻野拓氏）、「レーザー微細加工におけるインフォマティクスの活用」（産総研 電子光基礎技術研究部門 吉富大氏）の3件の講演が行われた。

午後の前半は、プラズマ技術に関する講演として「半導体製造プロセスへの情報技術の適用」（東京エレクトロン株式会社 先端データ企画部 守屋剛氏）、「低温プラズマ技術の現状と将来展望」（九州大学大学院 システム情報科学研究院 教授 白谷正治氏）、「先端半導体材料におけるプロセスダメージの評価と修復」（産総研 電子光基礎技術研究部門 布村正太氏）、「GaN系半導体デバイス開発とプラズマ技術」（産総研 電子光基礎技術研究部門 井手利英氏）、「プラズマ表面処理 ーモノからヒトまで」（産総研 電子光基礎技術研究部門 清水鉄司氏）の計5件の講演が行われた。

午後の後半は、レーザー加工技術に関する講演として「最新レーザー加工技術からAMまで」（三菱重工業株式会社 総合研究所 フェローアドバイザー 石出孝氏）、「金属のレーザー積層造形技術」（産総研 製造技術研究部門 板垣宏知氏）、「アクティブ制御レーザープロセッシング」（産総研 電子光基礎技術研究部門 奈良崎愛子氏）の3件の講演が行われた。

各講演の終了後には多くの参加者と有意義な議論が展開され、大盛況のうちにシンポジウムは閉幕した。